

1. 科目名 (単位数)	生活科指導法 (2 単位)	3. 科目番号	SJMP3293						
2. 授業担当教員	沼澤 清一		SJMP3393						
4. 授業形態	プレゼンテーション、ディスカッション、グループ学習、ロールプレイ、模擬授業 (実習) 講義	5. 開講学期	秋期						
6. 履修条件・他科目との関係									
7. 講義概要	生活科の特質は、直接体験を重視した学習活動を展開し、意欲的に学習や生活ができるようにすることにある。本科目では、生活科の趣旨や目標・内容を理解した上で、2 年間にわたる指導計画や学習指導案の作成を行ったり、模擬授業を行ったりするなどの具体的な実践を伴いながら生活科の指導方法について学習する。その中で、子どもが知的好奇心・探求心をもって主体的に学ぶ学習が成立するための方策について具体的に追求する。								
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活科の目標、内容、全体構造及び指導上の留意点について理解する。</li> <li>2. 生活科の特質、子どもの実態を視野に入れた学習指導案及び教材を作成できるようになる。</li> <li>3. 模擬授業の実施を通して、授業の批判的検討及び授業改善ができるようになる。</li> <li>4. 適切な学習評価について理解し、実践できるようになる。</li> </ol>								
9. アサシメント (宿題) 及びレポート課題	<p>【課題】</p> <p>課題1：模擬授業を振り返って</p> <p>課題2：学習指導案の作成</p> <p>【振り返りシート】</p> <p>講義の終了後、講義によって何が解決され、何が解決されなかったのか、また、自分自身はどのような考えを持ったのかなどについてまとめ、講義終了の翌日までに提出する。</p>								
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】『小学校学習指導要領 (平成 29 年告示) 解説 生活編』 文部科学省								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生活科の目標や内容、特徴を踏まえて指導計画をつくることができる。</li> <li>2. 指導計画をもとに適切な授業を行うことができる。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <p>[授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。]</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)</td> <td>総合点の 20%</td> </tr> <tr> <td>2 日常の学習状況 (出席・提出物)</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3 課題レポート (中間・期末)</td> <td>総合点の 50%</td> </tr> </table>			1 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)	総合点の 20%	2 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%	3 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%
1 授業への積極性 (発言・模擬授業の実施等)	総合点の 20%								
2 日常の学習状況 (出席・提出物)	総合点の 30%								
3 課題レポート (中間・期末)	総合点の 50%								
12. 受講生へのメッセージ	教師は、子ども以上に「はてな？」をもって身の回りの環境に目を向け、子どもに負けない知的好奇心・探求心をもって教材開発を楽しむことが大切です。気づきを基に学ぶことの楽しさを児童と共有できるような教師を目指して頑張りましょう！								
13. オフィスアワー	初回授業時に伝える。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	「授業の概要と目標の理解」 ・本授業の目標と内容について理解し、学びの見通しを持つ。 「現代の子どもと子どもを取り巻く環境についての考察と理解」 ・模擬授業の説明。課題 1 について。	事前学習	・本授業において自身が学びたいことや身につけたいことなど、自身の目標を立ててくる。						
		事後学習	・自身の目標の修正を行うとともに、実際の子どもの観察を行い、子ども理解を深める。 ・模擬授業の構想を練る。						
第 2 回	「学習指導要領の内容と生活科学習の特徴の理解」 ・生活科の目標・内容・特質・意義・役割等について、学習指導要領を基に理解する。	事前学習	・学習指導要領の生活科に関わる箇所を読み、自分なりに生活科について特徴をおさえる。						
		事後学習	・生活科の特徴について、事前学習で自分なりにおさえた特徴に追記、修正を行う。						
第 3 回	「生活科の実践事例(1)」 ・朝の会・帰りの会との連携を図り、学びの場を構築する指導方法のあり方について理解を図る。	事前学習	・朝の会・帰りの会の内容をふり返り、その意義についてまとめておく。						
		事後学習	・指導目的と方法についてまとめておく。						
第 4 回	「生活科の実践事例(2)」 ・授業後の調べ学習の記録である日記指導の指導方法、そのための授業構成のあり方について理解を深める。オープンエンドの授業形態について。	事前学習	・「日記」のあり方について自分の経験をふり返り、まとめておく。						
		事後学習	・授業と授業の間を生かした日記指導を取り入れることによる授業構成についてまとめておく。						
第 5 回	「生活科の実践事例(3)」 ・学級通信をもとに授業実践を読み取る。授業構成と追究課題の提示の仕方など、生活科の授業を支える指導のあり方について理解を深める。	事前学習	・内容「季節の変化と生活」について、学習指導要領解説の記述を読み、理解しておく。						
		事後学習	・学習指導要領解説内の内容「季節の変化と生活」と実践事例を見比べ、具体を伴って内容を理解できるようにする。						
第 6 回	「生活科の実践事例(4)」 ・子どもの文 (日記) から学ぶ。 ・学習日記の書かせ方とその意義。	事前学習	・参考資料を読む。						
		事後学習	・学習日記を読み、子供の追究から学んだことをまとめる。						
第 7 回	「模擬授業の実施と批判的検討 (内容: 地域と生活) 及び学習指導案の改善」①	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。						
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。						

			う。
第8回	「模擬授業の実施と批判的検討(内容:地域と生活)及び学習指導案の改善」②	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第9回	「模擬授業の実施と批判的検討(内容:地域と生活)及び学習指導案の改善」③	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第10回	「模擬授業の実施と批判的検討(内容:地域と生活)及び学習指導案の改善」④	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第11回	「模擬授業の実施と批判的検討(内容:地域と生活)及び学習指導案の改善」⑤	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に指導方法に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第12回	「模擬授業の実施と批判的検討(内容:地域と生活)及び学習指導案の改善」⑥	事前学習	・学習指導案と教材を見直し、模擬授業ができる準備をする。
		事後学習	・模擬授業や振り返りを受けて、特に指導方法に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行う。
第13回	「生活科の授業の実際(指導の留意点と評価)」 ・模擬授業や振り返りを受けて、特に授業設計に焦点をあてて学習指導案や教材の修正、改善を行い、生活科の授業のあり方について理解を深める。	事前学習	・自身の模擬授業、学習指導案及び教材を見直し、良かった点、改善点をまとめておく。
		事後学習	・実際の授業実践と自身の模擬授業、学習指導案及び教材を比較し、修正改善を行う。
第14回	「効果的な教材の作成と活用」 ・生活科の特質に合わせて、授業設計に効果的に活用できる教材(情報機器の効果的な活用を含む)を作成する。	事前学習	・生活科の効果的な教材について実践事例を調べてくる。
		事後学習	・作成した教材の見直し、修正、改善を行い、教材を完成させる。
第15回	「生活科授業のあり方、授業のまとめ」 ・生活科という教科の特徴について振り返るとともに、その特質を活かした授業を設計する際のポイント、留意点について確認を行う。	事前学習	・今までの学習を振り返り、生活科の特徴やポイントについて発表ができるようにしておく。
		事後学習	・生活科の特徴やポイントについて、理解しやすいように簡潔にまとめる。